

2018情報通信月間参加行事 報告書

行事ID	Ca035L	行事名	ケーブル・アワード2018 第11回ベストプロモーション大賞
行事形式		主催団体	一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟
開催日	4月作品募集、4月WEB投票、予備審査、6月本審査、7月19、20日贈賞式・展示	開催場所	東京国際フォーラム
行事参加者数	贈賞式:250名、展示コーナー:700名 フォーラム110名	WebサイトURL	https://www.catv-jcta.jp/jcta/iframe/catv_award2018/prize.html
行事実施概要・アピール等			
<p>全国のケーブル事業者が制作したチラシ・CM・ウェブや地域連携した取組み等を作品として募集。一般の方やケーブル局員に投票してもらうWEB上での審査等による予備審査を行い、6名の審査員による本審査を経て13作品を入賞作として発表。さらにラグビー元日本代表の大畑大介氏もアンバサダーとして、7/19に開催された贈賞式に登壇、ケーブル局の”地域とスポーツの連携”に関する取組みへの感想と共に自身の仕事に対しての取組み等を別途インタビュー取材し、ホームページで動画として公開する等、ケーブル業界の認知向上を図った。</p> <p>■受賞結果 グランプリ:須高ケーブルテレビ(株) 「スラックラインW杯開催における地方創生」</p> <p>今年で11回目となる同賞でしたが、全国のケーブル事業者に多く参加頂き、よりたくさんの事例を紹介できるよう、ホームページによる開催告知や作品募集、受賞結果の公表などを行った。その結果、応募数も170作品が寄せられた。また、開催告知のチラシ、入賞作品・贈賞式典の案内チラシと実施に向けて2回印刷物を作成する等、告知にも力を入れ、会場展示に関してもより多くの人の目につき、参考事例として広く周知されるよう努めた。また表彰されたベストプラクティスをモチーフに関連フォーラムも展開したが、次年度以降も検討したい。今後もケーブル業界内外に認知を広げ、普及・振興に寄与できるよう工夫していきたい。</p>			

←ロードバース...セル内で改行する時はAltを押しながらEnterを押してください。

